

めざす児童の育成に向けて 授業研修 6年生

6月20日の5校時に今年度1回目の授業研修を行いました。今年度は「よりよい自分を描き、自立した児童の育成をめざして～他者との深まる対話・自己調整力をいかして～」と題して、6年生の算数科



の授業を職員全員で参観後、グループに分かれて協議を行いました。

4月当初に研修担当より昨年度の反省と今年度めざすべき方向性を職員会議で提案し協議していますが、やはり実際の子どもたちの学びを通して具体的に話し合うことで、授業者はもちろんですが、参観した先生方の学びも深まると実感しました。



授業は、子どもたちが司会・記録を担当し、先生は支援に徹し授業を進めていくのですが、私が一番感心したのは、グループに分かれて学び合う時の子どもたちの話し合いです。あるグループは自分たちのノートを基に話し合っています。また別のグループではタブレットで自分たちの考えを比較しながら、また、自由に黒板に図を描きながら「ここまではわかるんや





けど、その後がわからへん」「〇〇と違うん」と話し合っていました。こうした課題に対する自分の今の理解度をグループの中で、安心して伝えられることが、6年生の誰もが学びに向かうことにつながっていると感じました。



参観後の事後研修では、先生方もグループに分かれて、子どもたちの変容をもとに協議しました。今回は、対象学年が6年生ということもあり、中学校にお声掛けし2名の先生が授業研修に参加いただき、グループ協議の中で小・中の授業交流も行うことが

できました。

また、市教委の指導主事の方より授業についてお話しいただいたことで、今後の向かう方向性もよりはっきりしました。次回の授業研修は2学期になりますが、夏季休業中にも、学んだことを基に研修を進めていきたいと思えます。